



貴 峯 だ よ り

第 143号

発行者 (福) 神奈川県厚生協会
理 事 長 岩 渕 壽 郎
住 所 平塚市達上ヶ丘1-9
電話 0463 (31) 0617(代)
印 刷 貴 峯 荘 ワークピア
印 刷 科
電話 0463 (35) 6170 (直通)
E-mail : insatsuka@kihoso.net

平成23年に移転してから、利用者の皆さんをはじめ、たくさんの方にご協力頂き、2回目の夏を迎えました。地域支援センターは窓も多く、ワンフロアという事もあり、明るくアットホームな雰囲気の中で過ごして頂いています。入浴をはじめ日中活動では皆さんで力を合わせて一つの作品を作り、季節ごとにすてきな作品を展示したり、時には映画やカラオケ等を楽しんでいます。さらに、地域の方々のニーズに応えるために相談事業をはじめ、生活介護事業の情報発信が、一層重要となることから、現在チラシ配布にも力を入れています。

また、今年もしっかりと根を張った緑のカーテンのゴーヤがたくさんの実をつけて節電対策の一助となっています。今後も地域との連携を密に、地域に根ざした障害福祉の中核としての役割を果たしていきたいと思っています。

小川 拓人



大久保公園にお散歩！巨大しゃぼん玉をやりました！



今日もいい歌声です！ 100点！



皆で作った作品です！



貴峯荘個室化改修工事完了

個室化改修 工事の概略

平成24年3月22日、利用者の方々の最後の引越し作業も終わり、個室化改修工事の全ての行程が無事に終了いたしました。ご協力いただいた全ての皆様に、この場を借りて厚く御礼を申し上げますと思います。ありがとうございます。

当施設は障害者自立支援法のもと平成23年4月から新事業体系への移行を行いました。これを機会に利用者の生活の場としての施設をより質の高いものとしていくために、従来の居室（2～4人部屋）を個室にするための改修工事を行うと共に、将来の高齢化・重症化という利用者ニーズにも適時対応できるナースコール等の施設整備を行いました。



また、この改修工事に伴い、利用定員が施設入所支援、生活介護ともに現

行の55人から40人に変更いたしました。同時に短期入所についてはこれからの利用者ニーズに対応して2人から4人へと増員いたしました。

利用者の声

改修工事終了後、利用者さんに新居室の感想を聞きました。内容は次の通りです。「新しい家具などを買ってもらえるのが楽しみになった」「プライバシーが守れるようになった」「広くなつて移動しやすくなった」「自分できちんと掃除して自己管理していきたいと思う」などなど、利用者さんの声としては概ね良い感想が聞かれました。一方で、「部屋が広すぎて殺風景な感じがする」「1人部屋は寂しい」などの感想もありました。今後の課題として支援に活かしてまいりたいと思っております。

支援員としての感想

利用者の方々にとって、くつろぎの場であった長年の居室を整理し、荷物を運び、慣れない部屋で就眠する：どれほどの苦勞であったかは想像に難くありません。しかし、利用者の方々は皆、最後まで乗り越えました。そればかりか新たな居室に入ると、今まであまりしてこなかった部屋の掃除に取り組むなど、責任感を持って部屋を自己管理する方も多く見受けられるようになりました。

た。この度の計画は貴峯荘の個室化が目的でしたが、変わったのは建物だけではなかったように感じます。貴峯荘個室化改修工事へご協力下さった方々へ改めて感謝いたしたいと思います。ありがとうございます。

加藤 誠

はつらつと生産活動に参加

平成24年5月1日より、貴峯荘湘南の丘の利用者も生産活動を開始する事となりました。

生産活動とは、当法人内で置いている各作業場での仕事を主としているもので、勤務時間や勤務日数は利用者によって異なります。希望者を募り、作業適正に合った方を対象とし、現在7名の利用者が参加されています。

目的としては、日中活動の充実、リハビリ訓練を挙げ、刺激のある一日を過ごして頂きたいと思えます。レクリエーションとは違い、仕事として実施している為、今までの日中活動とは違いもあります。が、利用者、職員共に取り組みに励んでいきたいと思えます。 椎野 晃生

参加利用者のひと言

組立・軽作業班

●中村浩二：遊びではなく仕事として行っている為、しっかりと

やらなければいけない部分はありますが、その分充実した毎日が過こせて楽しいです。ミスのないように心掛けてがんばります。

●石井泰男：仕事内容は昔とあまり変わらず、がんばれています。部屋で二日過ごすよりも、身体を動かせるし仕事が出来ることがありがたいです。仕事がある限りは続けていきたいと思っています。

●佐藤義昭：部屋に居るのはつまらないし、仕事を始めてから毎日が楽しいです。仕事をやれて良かったし、これからがんばりたいと思います。

●米山貴子：楽しい時もあるけど、不良品が見つかる時もあるので大変です。自分たちが気をつけていかないとけないので、がんばりたいです。

●斉藤美由紀：失敗もしたけど、これからもがんばっていききたいです。

印刷科

●秋元隆幸：昔、仕事をしていた時に比べるとメンバーが違ったり、ワープロを使っていたのがパソコンに変わったりと変化

節電・節水対策の取組み

昨夏以降電力の供給不足に対応するため、様々な節電対策に取組み、平成二十三年度は、利用者の生活に支障のない範囲で、電球や蛍光灯の一部を照明器具からはずすなどで、前年度対比で十一、四％の削減が図られました。今年度も引き続き、きめ細かな節電・節水に取組んでいるところです。対策の主な取組みとして、次の項目を推進しています。

クリーニング科

●福留芳郎：日によって仕事の量が多く、大変な時もあるが、がんばってやれています。

これからの時期は暑くなるので、さらにがんばりたいです。

●照明の削減（明るい場所の消灯）・待機電力の削減
●エレベーター近隣階への移動の際の階段の利用
●建物の遮断性の向上（緑のカートンの活用）
●節水の推進等を掲げています。

●空調温度の引上げ（28℃より若干引き上げる・始業開始前は、よんだん空気の入れ替え）

今年度は、特に待機電力のカットが

節電の基本と言われているところから、事務機器を初めとして、温水洗浄便座、洗面台、洗濯機等に、コンセントからスイッチひとつで待機電力をカットしてくれる電源スイッチを設置し、更には、給湯機から使用時のみ電気を入れる電気ポットに換えて、取組んでいます。

また、「貴峯荘」においては、昨年度「個室化改修工事」に併せて照明を全館LED照明に変更するなど、節電対策を実施しています。

今後も、節電に関する啓発などを適時に行い、積極的に節電に取組むことができる環境づくりを行っていきま

防災対策の取組み

一 総合防災マニュアルの作成

東日本大震災での教訓を踏まえて、地震・津波が発生した場合の具体的な対応について、「総合防災マニュアル検討会議」を設置しました。この会議は現在の消防計画の見直しを含めて、利用者の安全の確保とサービスの早期再開を図るため、職員が講じるべき措置の内容や手順を定めたマニュアル作成を平成二十三年度に引き続き検討をしています。その中では、事前、発生時、事後の3段階で、災害発生時の対

応を整理して、被害の軽減に努めていくとともに、当法人に則した独自のマニュアルを作成して、活用を図っていきます。

二 防災訓練

災害発生時の防災活動を的確かつ円滑に実施することが不可欠であることから、毎年（年二回）実施している防災訓練を今回は、地震車の体験を含めて実施しました。当日は消防署員から平塚市の災害予測と地震車の説明があり、職員が数回に分けて体験して、利用者にもその状態を伝えることができました。また、同時に車イスを使用している体験も実施しました。地震が発生したとき、職員一人ひとりがあわてずに適切な行動をとることが重要であることから、正しい心構えを身につけておくことが大切です。

三 自家発電装置の整備

平成二十三年度は、長期化する電力の需給調整における不測の停電等に備えるため、自家発電装置整備事業補助金で、体温調整のための空調設備や人工呼吸器、たんの吸引など生命維持に必要な機器を動かすための非常用自家発電設備を整備しました。入所者の安全の確保を図るとともに、日ごろより施設の点検や役割を明確にして、万が一に備えた対応策を法人として引き続き講じて行きます。

公益財団法人日本財団の助成で縫製班に軽自動車を整備しました。

去る三月二十一日、貴峯荘ワークヒア（就労継続支援B型）にミニキャブの納車・検収が終了し、二〇一一年度日本財団助成による「軽自動車の整備」事業が完了しました。

本事業は事業費総額七十九、〇〇〇円（うち、日本財団助成金八二〇、〇〇〇円）で、利用者の生産活動で主に縫製班による製品等の納品用に整備しました。

日本財団から当法人に対するこれまでのご支援は、利用者送迎用の福祉車両をはじめ、印刷機器、クリーニング機械等の整備で数多くの事業に対し助成をいただき、車両をはじめ機器類がそれぞれの作業科で現在もフル活動しています。

そして、作業科のひとつである縫製班は、自主製品の介護用品やバッグ・小物類の縫製のほか、介護用オムツ、ペーパータオル等の営業販売をしています。今回車両を整備したことに伴い坂道などの道路状況にかかわらず走行できるため配車に余裕ができ、製品や介護用品の納品等も予定とおりできるようになりました。また、車内が広くなったことで一度に多くの荷物を運搬できるようになり、一度に何箇所もまわれるようになりました。これらの作業が効率よくなったことで今後の生産活動の売り上げ増、ひいては利用者の工賃アップを図ることができ

ます。

今後、より一層安全運転を心がけることもに、作業においては仕入れ・作業・納品の更なる効率化と受注量の拡大を、利用者には作業訓練の充実を目指して頑張っていきたいと思



6/12 創立記念昼食会



色とりどりの
食事が食べら
れてとても満
足でした。

3/13 もちつき



皆さん一生懸命お餅を
ついています。つきだ
てのお餅は最高に美味
しかったです。

写真で見る貴峯荘の行事

5/20 陸上大会

練習の成果は発揮出来た
かな？
皆さん、金メダル目指し
て頑張りました。



5/31 ポピー見学



今年も畑いっぱいポピー
を見る事が出来ました。

7/10 フルート演奏会



2年ぶりの花火大会で、
皆さんとても楽しみに
されていました。迫力
があってキレイでした。

8/24 ひらつか花火大会観覧会



色々な飾りがあり、とて
もキレイでした。雨も降
らなくて良かったです。

7/6 七夕見学



いつもと会場が違いま
したが、一生懸命
がんばりました。

6/24 フライングディスク大会



8/21 夏まつり



メインステージでは
華やかな演目を鑑賞。
皆さんもリズムに合
わせて踊りました。

新メニュー
「ミニたい焼き」と
「ラーメン」も大変好
評でした。来年も楽
しみです！

8/21 夏まつり模擬店



7/3 七夕飾り



富士見小学校の生徒
さんと一緒に飾り付
けをしました。とて
もキレイに飾れたよ！

貸 借 対 照 表			平成24年3月31日現在 貸借対照表 (単位千円)
資 産 の 部			
流 動 資 産		206,684	
現金預金		78,714	
売 掛 金		6,289	
未収金他		121,681	
固 定 資 産		2,178,077	
基本財産		1,372,352	
現 金 基本財産特定預金		1,000	
土 地		215,992	
建 物		1,155,360	
その他の固定資産		805,725	
建物・構築物		22,531	
機械及び装置・器具備品等		71,253	
投資有価証券		500,735	
その他の積立預金		150,564	
その他の固定資産		60,642	
資産の部合計		2,384,761	

負 債 の 部			
流 動 負 債		67,245	
買掛金		3,036	
未払金		60,513	
預り金他		3,696	
固 定 負 債		421,772	
設備資金借入金		361,130	
退職給与引当金		60,642	
負債の部合計		489,017	
純 資 産 の 部			
基 本 金		138,180	
国庫補助金等特別積立金		646,321	
その他の積立金		716,491	
次期繰越活動収支差額		394,752	
(うち当期活動収支差額)		- 14,487	
純 資 産 の 部 合 計		1,895,744	
負債及び純資産の部合計		2,384,761	

平成 24 年度資金収支予算書			(単位：千円)
勘 定 科 目		決 算 額	
就労支援事業活動による収支	収 入		
	就労支援事業収入	66,708	
	クリーナーズ委託費等収入	62,658	
	雑 収 入	933	
	会計単位間繰入金収入	-	
	経理区分間繰入金収入	-	
	就労支援事業収入計 (1)	130,299	
	支 出		
	就労支援事業支出	62,176	
	クリーナーズ事業支出	55,996	
	会計単位間繰入金支出	-	
	経理区分間繰入金支出	-	
	就労支援事業支出計 (2)	118,172	
	就労支援事業活動収支差額 (3) = (1) - (2)	12,127	
福祉事業活動による収支	収 入		
	自立支援費収入	507,552	
	介護給付費収入	415,437	
	訓練等給付費収入	46,973	
	利用者負担金収入	45,142	
	補助事業等収入	10,526	
	寄附金収入	400	
	雑収入	20,064	
	借入金利息補助金収入	2,175	
	受取金利息配当金収入	6,820	
	会計単位繰入金収入	-	
	経理区分間繰入金収入	-	
	福祉事業収入計 (4)	547,537	
	支 出		
	人件費支出	354,146	
	事務費支出	52,258	
	事業費支出	68,592	
	借入金利息支出	4,730	
	会計区分間繰入金支出	-	
	経理区分間繰入金支出	-	
	福祉事業支出計 (5)	479,726	
	福祉事業活動資金収支差額 (6) = (4) - (5)	67,811	
施設整備等による収支	収 入		
	施設整備等補助金収入	-	
	施設整備等寄附金収入	-	
	その他の収入	-	
	施設整備等収入計 (7)	0	
	支 出		
	土地取得支出	-	
	建物取得支出	-	
	固定資産取得支出	0	
	その他の支出	-	
	施設整備等支出計 (8)	0	
	施設整備等資金収支差額 (9) = (7) - (8)	0	
財務活動による収支	収 入		
	借入金収入	-	
	投資有価証券売却収入	199,989	
	借入金元金償還補助金収入	12,772	
	積立預金取崩収入	-	
	その他の収入	-	
	財務収入計 (11)	212,761	
	支 出		
	借入金元金償還金支出	27,265	
	投資有価証券取得支出	200,000	
	積立預金積立支出	-	
	その他の支出	-	
	流動資産評価減等による資金減少額等	-	
	財務支出計 (12)	227,265	
	財務活動資金収支差額 (13) = (11) - (12)	- 14,504	
	当期資金収支差額合計 (14) = (10) + (13)	65,434	
	前期末支払資金残高 (15)	-	
	当期末支払資金残高 (14) + (15)	-	

平成 23 年度資金収支決算書			(単位：千円)
勘 定 科 目		決 算 額	
就労支援事業活動による収支	収 入		
	就労支援事業収入	65,727	
	クリーナーズ委託費等収入	62,656	
	雑 収 入	311	
	会計単位間繰入金収入	-	
	経理区分間繰入金収入	-	
	就労支援事業収入計 (1)	128,694	
	支 出		
	就労支援事業支出	54,009	
	クリーナーズ事業支出	58,254	
	会計単位間繰入金支出	4,000	
	経理区分間繰入金支出	-	
	徴収不能額	215	
	就労支援事業支出計 (2)	116,478	
	就労支援事業活動収支差額 (3) = (1) - (2)	12,216	
福祉事業活動による収支	収 入		
	自立支援費収入	486,148	
	介護給付費収入	392,084	
	訓練等給付費収入	47,593	
	利用者負担金収入	46,471	
	補助事業等収入	26,156	
	寄附金収入	366	
	雑収入	22,629	
	借入金利息補助金収入	2,349	
	受取金利息配当金収入	4,863	
	会計単位繰入金収入	4,000	
	経理区分間繰入金収入	-	
	福祉事業収入計 (4)	546,511	
	支 出		
	人件費支出	342,471	
	事務費支出	51,158	
	事業費支出	77,898	
	借入金利息支出	4,707	
	会計区分間繰入金支出	-	
	経理区分間繰入金支出	-	
	福祉事業支出計 (5)	476,234	
	福祉事業活動資金収支差額 (6) = (4) - (5)	70,277	
施設整備等による収支	収 入		
	施設整備等補助金収入	16,000	
	施設整備等寄附金収入	7,025	
	その他の収入	7,388	
	施設整備等収入計 (7)	30,413	
	支 出		
	土地取得支出	-	
	建物取得支出	67,825	
	固定資産取得支出	28,038	
	その他の支出	-	
	施設整備等支出計 (8)	95,863	
	施設整備等資金収支差額 (9) = (7) - (8)	- 65,450	
財務活動による収支	収 入		
	借入金収入	41,000	
	投資有価証券売却収入	100,000	
	借入金元金償還補助金収入	12,773	
	積立預金取崩収入	-	
	その他の収入	-	
	財務収入計 (11)	153,773	
	支 出		
	借入金元金償還金支出	25,025	
	投資有価証券取得支出	100,089	
	積立預金積立支出	8	
	その他の支出	-	
	流動資産評価減等による資金減少額等	-	
	財務支出計 (12)	125,122	
	財務活動資金収支差額 (13) = (11) - (12)	28,651	
	当期資金収支差額合計 (14) = (10) + (13)	45,694	
	前期末支払資金残高 (15)	93,745	
	当期末支払資金残高 (14) + (15)	139,439	

平成二十四年度は、現在検討されている「障害者総合福祉法」を注視しつつ、次に掲げる「二つの」課題への対応を通して、法人と施設の更なる発展への道を確認かなものとしてまいります。

その課題の「一つ」は、新事業体系のもとでの「施設入所支援」「生活介護」「就労継続支援B型」及び「短期入所」の多機能に及ぶ事業をより充実するため、法人として各事業についての内部評価を行うことにより、利用者へのより多様化・高度化したサービスの提供に努めます。

課題の「二つ」は、「昨年購入した地域支援センター敷地の有効活用への構図を描くこと」であります。

法人が築いてきた五十余年の蓄積を基盤に新たな五十年の計に立ちつつ、平塚市内における「障害者総合福祉施設」としての一大拠点を築いてまいります。

平成二十四年度はこの「二つ」を中心に様々な課題への取り組みを通して

- より質の高いサービスの提供
- 自己責任による経営の健全化
- 地域社会からの一層の信頼の確保

を基に据え、時代の要請に的確に対応し得る「地域一番」の法人と施設づくりを目指してまいります。

「法人事務局」は、地域支援センター敷地の有効活用のため、基本構想、基本計画及び実施計画を策定するとともに、高度な介護技術とベールスに人権等に配慮した良質なサービスを提供のためのきめ細かな研修体系を築きます。また、利用者を事故から守り、生命の安全の確保に努めます。

「貴峯荘」は、利用者に良質な施設入所支援・

生活介護サービスの提供を目指しますとともに、利用者に合った生産活動の充実に努めます。

「貴峯荘ワークピア」は、就労分野・生産活動の一層の発展に資するため、ソフト・ハード両面にわたる「基盤整備」に努めるとともに、各科における受注、生産、販売について前年度決算額を上回る実績確保を目標とします。また、在宅障害者の就労支援の活性化に資するため、利用者の増に取組み、事業の拡大に努めます。

「貴峯荘湘南の丘」は、利用者の人権を尊重し、利用者個々の特性に応じた「介護支援」「訓練」「医療」はもとより、充実した生活を送るための「多様な日中活動の展開」に努めます。

「貴峯荘地域支援センター」は、在宅障害者の積極的な受け入れに努め、事業の活性化を目指します。

また、地域における障害者を支援し、生活の質の向上等に寄与するための相談支援業務を実施する相談事業所としての機能の充実・強化に努めます。

「貴峯荘ケア付き住宅事業」は、利用者の人格を尊重し、利用者の心身のサービスの提供に努めるとともに、利用者が地域移行するための自立支援と日常生活の充実に資するよう支援します。

収益事業である「厚生協会クリーナーズ」は、積極的に障害者雇用するとともに、障害者の就労の場及び実習訓練の場として役割・機能の強化に努めます。

平成二十三年度は、「貴峯荘」「貴峯荘湘南の丘」の二つの入所施設を新事業体系に移行し、その運営は概ね順調に推移しました。

また、今年度は、長年の課題でありました「貴

峯荘個室化改修工事」と「自家発電装置の整備」が完了しました。特に利用者の生活の場としての施設をより質の高いものとしていくために、現在の多床室を個室とする改修工事を行うとともに、将来への利用者ニーズにも適時対応できる機器などの整備を行いました。

このほか、三つのプロジェクトで、法人の課題等に積極的に取り組みました。一つ目は「貴峯荘建築構想プロジェクト会議」で、昨年度から地域支援センターの再整備に必要な地域ニーズの調査、検討を行い報告書に纏めました。二つ目は「総合防災マニュアル検討会議」で、地震、津波の被害を想定して、現在の消防計画の見直しを行うこととしており、平成二十四年度も引き続き検討を進めていきます。三つ目は「緊急時対応マニュアル会議」で、利用者の誤嚥、転倒等の事故発生時の適切な対応を図るための冊子を作成しました。

このように、「中期行動計画」の三年目として、「基本方針」のもとに、利用者や地域の皆様に信頼される法人・施設として事業活動に組みました。

「貴峯荘」は、利用者の意思を尊重し、個々のニーズにあった個別支援計画を策定し、計画に基づく支援の実施に努めました。

また、利用者の生活の場としての支援のほか、地域や関係団体等の各種行事参加を通して、地域社会の一員として参加・活動できる機会の確保に努めました。

「貴峯荘ワークピア」は、在宅の利用者が安心して通所し、日中の生産活動に参加できるよう支援に努めました。

「貴峯荘湘南の丘」は、利用者の人権を尊重し、利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、自主的・主体的な生活の確立を目標に利用者個々の特性に応じた「介護支援」「医療」「訓練」に努めました。また、

日常生活充実のため、ボランティアに協力をいただき創作活動・音楽活動等の日中活動の充実に努めました。

「地域支援センター」は、主に平塚市在住の在宅障害者を対象として、入浴支援のほか彫金、陶芸、音楽の各サークル、レクリエーション、映画会、創作活動等の日中活動の充実に努めました。

授産事業は、利用者個々の特性に応じた作業目標を定め、その目標に沿った作業指導を行いました。

また、厳しい経済状況において、不要な経費の削減に努め作業の効率化を図るとともに、製品の品質管理・納期の厳守に努めました。

「相談支援事業」は、障害者自立支援法に基づく相談事業所として、関係機関と連携をとりながら、地域の障害者の各種相談・助言・斡旋・調整等を行いました。

「障害者ケア付き住宅事業」は、平塚市からの委託を受け、障害者の地域生活への移行支援を目的に、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービス提供に努めました。

収益事業である「厚生協会クリーナーズ」は作業の合理化に努めるとともに、経営の効率化、コインランドリー等サービスの拡充に努めました。

利用者は三月三十一日現在で、貴峯荘（障害者支援施設）四十二名、貴峯荘ワークピア（就労継続支援事業B型）二十二名（登録者二十七名）、貴峯荘湘南の丘（障害者支援施設）五十四名、貴峯荘湘南の丘短期入所事業二名、貴峯荘地域支援センター生活介護事業十九名（生活介護の登録者は四十二名で、希望により週一日〜五日間利用）、ケア付住宅三名の合計一四二名が利用されました。

ご厚意に感謝いたします。

次の方々からご寄贈をいただきましたので、あらためてお礼申し上げます。

山王総合株式会社 株式会社アドワン	代表取締役 若林 真様
大木製麺株式会社 有限会社日本活性濾過工業 シオン薬局	代表取締役 鈴木 康太様
株式会社安江設計研究所 エス・ケイ・ティ株式会社 社会福祉法人県西福祉会 足柄療護園	代表取締役 大木 良正様 代表取締役 田島 恒夫様 代表取締役 野村 勲様 代表取締役 安江 知之様 代表取締役 長谷川 辰巳様
いまい印刷	代表取締役 松本 信輔様
神奈川県立さがみ緑風園	園 長 佐藤 洋克様
富士見地区社会福祉協議会 富士見地区民生委員・児童委員協議会 諏訪町会	理 事 山崎 明信様 大町 功雄様 石原 幹夫様 稲毛 文雄様 仲野ともし様 打田 行男様 伊藤 宗博様 小澤 正敏様 藤原 和子様 金田 昌也様 三田 昌也様 宇賀谷 武夫様 奥田 公男様 五十嵐 紀子様 齋藤 潔様 溝渕 崇様 根岸 弘子様 落合 文雄様 落合 正子様 高山 秀明様 山口 実様 星野 泰啓様 鈴木美智子様 評議員 今津 一男様 小川 文男様 所 長 横 庄作様
社会福祉法人常成福祉会 丹沢自立生活センター	センター長 伊藤 宗博様
貴峯親交会	監 事 金田 昌也様
社会福祉法人光友会 社会福祉法人光友会 社会福祉法人光友会 湘南希望の郷	理 事 五十嵐 紀子様 齋藤 潔様 溝渕 崇様 根岸 弘子様 落合 文雄様 落合 正子様 高山 秀明様 山口 実様 星野 泰啓様 鈴木美智子様 評議員 今津 一男様 小川 文男様 所 長 横 庄作様
高山医院	理 事 落合 文雄様
社会福祉法人よるべ会	理 事 落合 正子様
ファミリーショップ 有限会社田辺 地域活動支援センター サポート湘南 有限会社小川屋商店 株式会社小川屋商店	所 長 今津 一男様 小川 文男様 横 庄作様

新人紹介

ケア住



高橋 芳江さん
23年11月1日付

長持のケア付住宅で働いております。利用者さんの声に耳を傾けるよう培っております。

なでしこ



丸山ちよ子さん
24年2月1日付

2月より非常勤として入社しました。障害者施設は初めてですのでよろしくお願いします。

クリーナース



古府 正寛さん
24年2月20日付

休まずに、一生懸命、がんばって仕事をおぼえたいです。よろしくお願いします。

給食



奥村 和彦さん
24年3月1日付

新参者ですが、がんばります。よろしくお願いします。

やまゆり



真壁 美和さん
24年4月1日付

4月から仲間入りです。先輩方のフォローもあり、頑張っています。お願いします。

地域支援センター



新井美希子さん
24年4月23日付

至らない所もあると思いますが、よろしくお願い致します。

支援第一課



久保田恵子さん
24年7月17日付

いつも笑顔で頑張りたいと思います。みなさん、お気軽にお声を掛けてください。

総務課



橋本佳代子さん
24年8月1日付

「明るく元気よく」をモットーに、何事も最後まであきらめずに頑張ります!!

なでしこ



斎藤由希子さん
24年8月16日付

8月に入りました。一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。